


【NEDO助成事業】

事業名称	船舶修繕・点検作業でのROV群と技術者との協業作業の技術開発
フェーズ	PoC1 1日目
開催日時	2022年5月12日（木）14:00～16:30
開催場所	長崎市浪の平町 シンナガ(株)会議室、ドック岸壁
参加人員	佐伯（DPS）、松岡（長崎総合科学大学）、馬場、中村光（有明商事）、嶋（嶋潜水）、坂井、高比良（シンナガ）計7名
当日のスケジュール	14:00～本事業の説明（佐伯） 14:20～ROV及び実証実験に関する講義（松岡） 15:20～意見交換 16:00～実証実験の実施場所について現地視察
意見交換	<p>（松岡先生） ROVの活動はあくまで潜水士との協業作業についてどのような意見をお持ちか 具体的には安全確認や進捗確認、照明のサポート等を想定している。</p> <p>（嶋潜水士） 一部の潜水現場ではROVが導入されているが、そこまでのコストをかける予算をもっている現場であれば可能性はあるのではないかと。 現在の法律では陸上監視員の設置は必要。今後水中でのROVによる監視等が法律上必要になればより需要は高まる。 現在の潜水方法は、スキューバ又はフーカー（マスク式）の2種類。</p> <p>（松岡） 照明のサポートの際の光量及びハレーションについてはどのように考えるか。</p> <p>（嶋） 通常は自分のマスクにライトを設置している。 光量については海の状況によって異なるが漁船等の作業の際は集魚灯をたく等の対応はある。 ハレーションについては斜めからの照明があればハレーションは防ぐことは可能。</p> <p>（嶋） 事業化を前提としたニーズで想定できるものは、ROVを活用した自主点検（予備診断）ではないか。</p>
当日の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【会議の様子】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【現地調査の様子】</p> </div> </div>